

慶應義塾大学 SFC 研究所 e-ケアコンソーシアム
第6期 活動概要書(研究課題計画書)
2009年3月1日～2010年2月28日

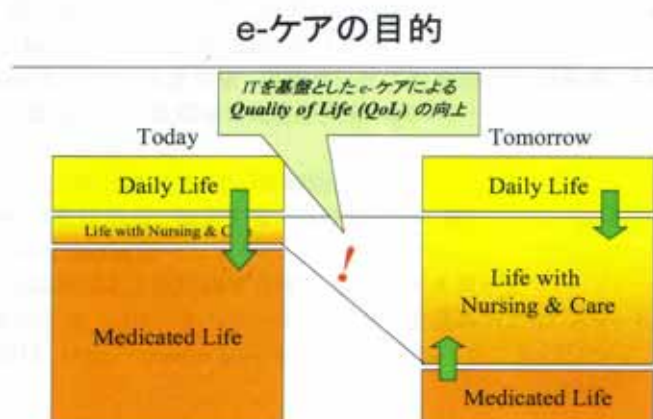
慶應義塾大学 SFC 研究所 e-ケアコンソーシアムは、2004年3月 設立時より、保健・医療・看護・介護・福祉分野および IT 分野の専門家が集い、「e-ケア」に関わる知識やノウハウを創造し発信することで、これからの社会に貢献することを目的とする、産官学コンソーシアムとして様々な課題に取り組んでまいりました。

ここに、e-ケアコンソーシアム 第6期の活動につきましてご案内申し上げますとともに、本コンソーシアムへのご参加のお願いを申し上げます。

■ 本コンソーシアムの目的 ■

「e-ケア」は、最新の情報技術(IT)を介護福祉分野に応用することで、あらゆる年齢の人々の健康を支え、地域社会づくりを含めた、人々のクオリティ・オブ・ライフ(QOL)の向上に貢献するという狙いをしています。

図 1



わが国において、人口の25%を65歳以上が占める「超高齢化社会」が到来するのは2013年前後といわれています。一方で現代社会においては、高度情報化が進み、インターネットを基盤としたさまざまな情報技術の利活用が可能となっています。このような背景を踏まえ、本コンソーシアムは、看護・介護・福祉・医療・ITなど様々な分野の専門家および事業者が横断的に活動し、情報を交換し、発信し、社会制度、運用方法、ビジネスモデルなどを提案することにより、「e-ケア」のゆきわたるヘルスケアコミュニティ(=「e-ケアタウン」)の創造・発展を目指しています。

■ e-ケア・プロジェクトとは？ ■

「e-ケア・プロジェクト」は、「e-ケア」をキーコンセプトとして、「地域・コミュニティ・社会・家族・組織などの『ケア力』を向上させることで、すべての人がより健康で自立できる社会」の実現を目指す研究プロジェクトです。

慶應義塾大学は、2002年度より、情報技術を介護福祉分野へ応用する様々な取り組みを行なってきました。2009年3月現在、弊塾では、塾内研究者の組織である「ヘルスケア・インフォマティクス・リサーチ・ラボ」と、その産官学コンソーシアムである「e-ケアコンソーシアム」が、この「e-ケア・プロジェクト」を推進する中心組織となっています。コンソーシアムの年間活動(P3)以外にも、ラボラトリの研究活動にコンソーシアム一般会員・特別会員からの協力支援を頂ける場合には、積極的に連携・協働の方策を探っていきます。

1.e-ケアタウンプロジェクト(2002年度・2003年度)

総務省直轄事業「e!プロジェクト」介護福祉分野実証実験

推進組織:e-ケアタウンふじさわ実証コンソーシアム

(藤沢市・財団法人 藤沢市保健医療財団・NTT 東日本・慶應義塾大学)

本プロジェクトの内容は、<http://www.e-care-project.jp/> をご覧ください。

2.音声とボタンを利用したコミュニケーションツール(2003年5月～2004年3月)

高齢者・障害者向け通信・放送サービス充実研究開発助成事業

3.ヘルスケア・インフォマティクス・リサーチ・ラボ (2003年7月～)

慶應義塾大学 SFC 研究所内の研究者組織(看護医療学部・総合政策学部・環境情報学部)

4.e-ケアコンソーシアム(2004年3月～)

慶應義塾大学 SFC 研究所 コンソーシアム制度による産官学のコラボレーション組織

5.e-ケアコンソーシアム MYSSI プロジェクト(2005年7月～)

2005年度および2006年度の経済産業省 健康サービス産業創出支援事業に採択されました。

6.e-ケアコンソーシアム 看護医療と建築を考える研究会(2005年～)

e-ケアコンソーシアム内での研究会

7.MyCARE プラットフォーム NFC(携帯 FeliCa)を利用した

ヘルスケア情報サービス看護医療と建築を考える研究(2007年)

e-ケアコンソーシアム内での研究

8.e-ケア型社会システムの構築と応用に関する研究 (2005年4月～)

2005年度より、文部科学省 ハイテク・リサーチ・センター整備事業としてスタート。略称:ecareHRC。

本プロジェクトの内容は、<http://www.e-care-project.jp/HRC/> をご覧ください。

■ e-ケアコンソーシアム（第6期）の活動 ■

■研究課題■

ITの利活用による、ヘルスケア・コミュニティ実現を目的とした研究全般

■研究活動概要■

SFC 研究所、ヘルスケア・インフォマティクス・リサーチ・ラボの研究形態の1つとして、第6期会員・特別会員（自治体、企業、NPO 法人など）と、塾内構成メンバーが協力し合い、

- ・ヘルスケア分野が抱える課題の洗い出し
- ・ITを活用した解決策の提案

など、最新のIT技術を用いてあらゆる年齢の人々の健康を支え、地域社会づくりを含めた人々の健康構築に貢献することを目的とした、「e-ケア」実現のための研究活動を行います。

第6期は、コンソーシアム内プロジェクトの「MYSSI プロジェクト」や「看護医療と建築を考える意見交換会」、新規活動の啓発、活性化を推進し、e-ケア型社会システムの基盤構築に取り組みます。

■年間活動内容■

- ・情報交換会（トピックは、構成メンバーからの提案の他、会員・特別会員からの提案・協議により決定）
- ・研究会（テーマは、構成メンバーからの提案の他、会員・特別会員からの提案・協議により決定）
- ・市民向けの講座の開催や研究協力者の確保に向けた広報事業にも積極的に取り組む。
- ・慶應義塾大学 SFC Open Research Forum 2009 展示・プレゼンテーション
- ・報告会（年1回）、会員・特別会員・構成メンバーのみに年次活動報告書（各組織1部）配布

第6期スケジュールとしては、下記を予定しており、他に、情報交換会・研究会開催、会員・特別会員とのミーティング、広報活動などを年間活動の中で実施してまいります。

2009年11月 Open Research Forum2009 参加

e-ケアコンソーシアムとしての展示・プレゼンテーション、セッションを実施予定

2010年3月 第6期報告会 開催予定

■会員種別および参加会費■

産官学コンソーシアムである、本コンソーシアムは、e-ケア・プロジェクトの趣旨にご賛同下さり、弊塾内構成メンバーと共にプロジェクトに取り組んで下さる団体・組織に、一般会員・特別会員としてのご参加をお願いしています。

一般会員	(新規)	企業	50万円(※1)
	(継続)	企業	30万円(※2)
特別会員	自治体、学術研究機関、特殊法人、非営利団体、および慶應義塾大学 SFC 研究所がコンソーシアムの発展に必要と認める団体		会費外

(※1)企業の参加初年度 50万円 [内訳:入会金 20万円、年会費 30万円]とします。申し込み時に当該年度の半年を経過している場合には、35万円 [内訳:入会金 20万円、当該期分の会費 15万円]とします。

(※2)継続して参加する企業は、年会費 30万円とします。

■会員の特典■

- 1)コンソーシアムを通じて、慶應義塾大学、会員組織間での情報共有、意見交換を進めることができます。
- 2)会員間で実証実験を行うことも可能です。その成果を事業に役立てて頂くことが可能です。
- 3)会員のみが参加する成果報告会や、慶應義塾大学 SFC の Open Research Forum(一般公開)などに参加できます。

■構成メンバー■

[運営] 慶應義塾大学 SFC 研究所

[研究体制] コンソーシアムメンバーは、一般会員・特別会員、そして、下記の弊塾構成メンバーとなります。

(2009年3月現在)

太田 喜久子	看護医療学部	教授	健康マネジメント研究科委員(看護学専修)
山下 香枝子	看護医療学部	教授	看護医療学部長、健康マネジメント研究科委員 (看護学専修)
徳田 英幸	環境情報学部	教授	環境情報学部長、大学院政策・メディア研究科委員
熊坂 賢次	環境情報学部	教授	大学院政策・メディア研究科委員
村井 純	環境情報学部	教授	慶應義塾常任理事、大学院政策・メディア研究科委員
國幡 二郎	総合政策学部	教授	SFC 研究所長、大学院政策・メディア研究科委員
金子 仁子	看護医療学部	教授	健康マネジメント研究科委員(看護学専修)
竹ノ上 ケイ子	看護医療学部	教授	健康マネジメント研究科委員(看護学専修)
小林 正弘	看護医療学部	教授	
大谷 俊郎	看護医療学部	教授	健康マネジメント研究科委員(スポーツマネジメント専修)
新藤 悦子	看護医療学部	准教授	
榎 美奈子	看護医療学部	准教授	
茶園 美香	看護医療学部	准教授	
宮川 祥子	看護医療学部	准教授	
安田 恵美子	看護医療学部	准教授	
杉澤 亜紀子	看護医療学部	助教	
久保 美紀	看護医療学部	助教	
新幡 智子	看護医療学部	助教	
高城 智圭	看護医療学部	助教	
川喜田 恵美	看護医療学部	助教	
仰木 裕嗣	大学院政策・メディア研究科	准教授	環境情報学部
福田 亮子	環境情報学部	専任講師	
秋山 美紀	総合政策学部	専任講師	
内山 映子	大学院政策・メディア研究科	准教授	
南 政樹	大学院政策・メディア研究科	講師	
西山 敏樹	大学院政策・メディア研究科	講師	
羽田 久一	大学院政策・メディア研究科	講師	
大川 恵子	大学院メディアデザイン研究科	教授	
山内 賢	体育研究所	准教授	
西山 里利	SFC 研究所	上席所員(訪問)	
前田 尚美	SFC 研究所	上席所員(訪問)	
三輪 真知子	SFC 研究所	上席所員(訪問)	浜松医科大学医学部看護学科教授
ラウ 優紀子	SFC 研究所	上席所員(訪問)	
渡邊 輝美	SFC 研究所	上席所員(訪問)	静岡県立大学短期大学部看護学科専任講師
加藤 教子	SFC 研究所	所員(訪問)	そらの家"OISO"へ言語・発達・心理臨床センターへ

事務局 若干名

以上